

蔵

王みはらしの丘」は、山形県の県都・山形市と上山市に広がるニュータウンです。蔵王連峰や白鷹山系、そして山形市街を臨む丘陵地に位置するこの地区で、美しい山なみとまちなみが呼応し合う住環境を目指し、平成10年からまちづくりがスタートしました。

山々は、一年を通して麓の街に美しい色彩を見せてくれます。蒼々とした新緑、夏の青空、紅葉や黄葉の秋……。そして、冬には白銀の雪を纏った山々が、街の色彩の一部となります。



まちづくりの一環として誕生した「みはらしの丘小学校」。校舎には山形県産の木をふんだんに使い、子ども達が地場の産物に触れる機会をつくっている

街の中核エリアに位置するミュージアムパーク。蔵王連峰や月山が見渡せ、四季折々の山の表情を楽しむ憩いの場として、地区内外の方に親しまれている

ります。

街の中核には、丘陵地形を生かした広大な公園「ミュージアムパーク」が広がり、街の人や来訪者が共に自然を楽しみ、交流を持てる場として親しまれています。また、街に花々で華やぎを添える景観づくり「みはらし花一杯」、ミュージアムパークに皆で芝を植えて育てる「みはらし原っぱづくり」など、住民の方々の手作り加わって、豊かな自然と一体化するまちなみが生み出されています。

雄大な自然の色彩を背景に、皆の手でまちづくりが進む蔵王みはらしの丘。今後はさらに、商業施設やスポーツ施設などの都市機能が生まれ、この街に「賑わい」という色彩が加わる計画です。

街を纏う白

蔵王みはらしの丘
山形県山形市・上山市



この街にお住まいの方が利用できる農園「みはらしガールデン」。冬はもっばらハクサイやダイコンが主流。秋には収穫祭や料理教室も催される

冬 Winter